

令和元年度 第1回栗東市火葬場建設検討委員会議事録

日 時：令和元年6月28日（金）13：30～14：45

場 所：危機管理センター3F 大研修室

出席者：高野委員長 大角職務代理者 奥村委員 矢部委員 伊丹委員 吉川委員

川島委員 原田委員 奥田委員 野村市長 事務局（環境経済部長 環境政策課）

欠席者：三好委員

<次第>

1. 開会
2. 市民憲章唱和
3. あいさつ
4. 委嘱
5. 報告事項
 - (1) 会議の公開について
 - (2) 栗東市火葬場建設検討委員会設置要綱の一部改正について 【資料1】
6. 協議事項
 - (1) 委員長及び委員長職務代理の選出について
 - (2) 市長からの諮問及び今後のスケジュールについて 【資料2・3】
 - (3) これまでの火葬場建設検討の経過及び火葬場に関する整備方針等の検討について
【資料4・5・6・7】
7. その他
8. 閉会

【概 要】

5. (1) 会議の公開について

会議の公開について、『異議なし』となり、傍聴者2名が入室された。

6. (1) 委員長及び委員長職務代理の選出について

互選により、委員長・高野 正勝氏 職務代理者・大角 實氏が選出された。

6. (2) 市長からの諮問及び今後のスケジュールについて

【資料2】

委員）諮問の広域連携について、栗東市単独で火葬場を設置するのか、草津市と合同で設置するのか決定しているのか。

市 ）市として火葬場を持つのか否か。また、持つ場合には、単独で持つのがよいか広域で持つのがよいかを意見として頂きたい。

6. (3) これまでの火葬場建設検討の経過及び火葬場に関する整備方針等の検討について

【資料4】

委員) 草津市とは、連携の話が進んでいるのか。

市) 具体的な話は進んでない。前回の答申が生きているままであり、連携するにも、市として火葬場を持つか、単独で持つか、広域で持つかの結論を出す必要がある。

委員) 草津市と協定書により基礎調査をしている、火葬場の連携の協定書ではないのか。

市) 基礎調査を共同で行うという協定書であり、それぞれの市が単独で設置する場合、共同で設置する場合の基礎調査であることから、共同実施を前提とした調査ではない。

【資料5・6・7】

委員) 資料7で3割、4割、5割の負担割合が出てきているが、考え方はあるのか。

市) 明確にはなく、共同で事業を実施する場合に、協議していくことになる。

委員) 草津市は栗東市と広域的に実施する方向で進めているのか。

市) 草津市は建替えの検討はされているが、単独なのか広域なのかはこちらの結論を待っている状況である。

委員) 火葬炉がいつまでもつかなどの耐用年数については資料にないが、どのくらいを考えているのか。

市) 今の段階では、耐用年数までは考えていない。

委員長) 現状の火葬利用料は、草津市と栗東市とでは全然違うが、料金はどうなるのか。共同設置の条件にもなるのではないか。

市) 利用料は今の段階では決まっていない。ただ、共同で設置した場合は草津市と栗東市で利用料金に違いがあるということは有り得ないので、利用料の見直しはある。栗東市の財政状況もあることから、草津市と栗東市と利用料金などは、十分に考えていかなければならない。

委員) 公設公営になった場合は、経営主体はどうなるのか。両市で組合をつくられるのか。

市) 1つの手法として一部事務組合も考えられる。

委員) 資料では、ほぼすべての市民が共同火葬場の利用を想定されているが、現在、市民すべてが草津市営ではなく、野洲川斎苑も利用している。

市) 共同設置されれば、管内料金で利用できる施設となり、管外料金で野洲川斎苑を利用される方が減るという前提で算出している。

委員) 共同で設置すれば費用負担が減ることは理解できるが、火葬場の設置場所は検討しているのか。市内でも設置要望している場所の話もあるので単独設置も考えることも必要ではないか。

市) 火葬場の設置場所までは検討していない。

委員) 設置場所のことも考慮して、単独か広域かどっちが優位になるかを考えて、草津市と交渉することは必要である。

委員長) 諮問では、火葬場の設置場所までは入っていない。

7. その他

次回の第2回栗東市火葬場建設検討委員会(視察及び意見交換)は8月20日(火)の午前中を予定。 視察場所:草津市営火葬場、野洲川斎苑

委員) 野洲川斎苑は守山市野洲市の広域設置であることから、建設費用等の負担割合の資料を準備いただきたい。

委員) 同規模の火葬場の建設費用等の資料等があれば参考になる。

以上。